



北海道東川養護学校 学校便り

令和7年 3月 7日発行

第5号

〈 発行責任者 〉

校長 業 天 誉 久

いなほ

「チャレンジする気持ちを忘れずに」

学校長 業 天 誉 久

まもなく、令和6年度（2024年度）が終わります。1年間は、あっという間に過ぎていきました。今年度は、感染症の影響を受けずに教育活動を行えたことが校長として一番うれしかったことです。その中で、東川養護学校の児童生徒のみなさんは、いろいろな学習に取り組みました。例えば、東川町内の小、中学校及び高等学校との交流学习や実際の田んぼに出向いての田植えや稲刈りの体験活動、農業法人での作業体験など、得意な学習や苦手な学習など、一人一人違うと思いますが、児童生徒のみなさんは、苦手なことであっても少しずつチャレンジして、取り組んでいました。

このチャレンジする気持ちが成長の原動力につながると思います。そして、チャレンジができるように周りの友達や先生、保護者のみなさんや地域及び関係機関の皆様が児童生徒一人一人の背中をそっと押してくれたのではないかと思います。

令和7年度（2025年度）は、東川養護学校にかかわるみなさんでOne Team（ワンチーム）、チーム一丸となって前に進んでいきたいと思います。そして、Our Team（アワチーム）、私たちの学校に誇りをもち、より良い学校にするためには何が必要か、どのようにしたらよい学校になるのかを周りの友達や先生、保護者のみなさんや地域及び関係機関の皆様という学校にかかわる皆さんと一丸となって、考えていきたいと思います。

関係する皆様のお力添えに深く感謝するとともに令和7年度（2025年度）も変わらぬご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



小学部

「卒業と進級に寄せて」

小学部 原 田 尚 幸

令和6年度の小学部は46名でのスタートでした。1学期末に転校によるお別れがあり、44名で今年度を終えようとしています。

初めは新しい環境や活動に戸惑う子どももいましたが、毎日の遊びや学習、行事等の経験を通して自身を深めていきました。また運動会や東川養護祭などの大きな行事以外でも、子ども達の「できた!」という満足気な笑顔がたくさん見られました。一人ひとりが自分のペースでコツコツと努力を積み重ねた成果です。

さて、卒業生である6年生は中学部へ進学します。同じ校舎ですが、学習内容、一緒に過ごす人の顔ぶれ、服装が様変わりした新しい環境になります。8名の個性豊かな6年生は、新しいことに触れながらさらに格好良いたくましい中学生になってくれることでしょう。廊下でそんな姿を見ることができのを楽しみにしています。

新しい学年に進級する1～5年生は、楽しみも不安もあるかもしれません。しかし、この一年で身につけた力を

信じてまた一歩ずつ進んでいきましょう。私達教職員は全力で後押ししていきます。

今年度も保護者の皆様や子ども達に関わるたくさんの皆様には、様々なご支援、ご協力をいただき、心から感謝申し上げます。どうもありがとうございました！今後ともよろしくお願いいたします。

中学部

「1 年を振り返って」

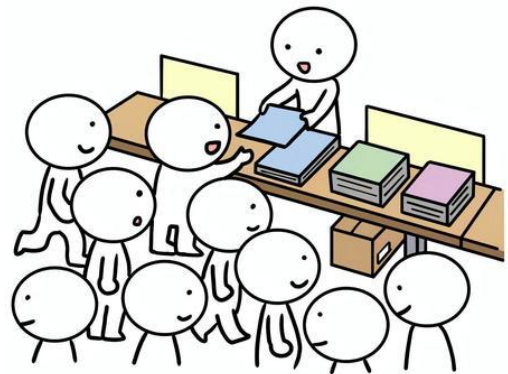
中学部 佐 藤 純 平

4月に17名の新入生と1名の転校生を迎え、令和6年度は総勢31名でスタートしました。2、3年生は1年生の手本となるよう真剣に学習に取り組み、様々な場面で先輩らしい姿を見せてくれました。1年生も新しい環境に早く慣れようと、学級だけでなく学年、学部での学習にこつこつと取り組んでいました。

1学期には体育大会、田植え体験、1年生の校外学習、2年生の宿泊研修、3年生の見学旅行があり、2学期には稲刈りをし、収穫したお米でおにぎりを作りました。他にも東川養護祭という大きなイベントがありました。3学期には歩くスキー大会や製品販売会と、卒業・進級に向けて1年のまとめの学習に取り組んでいました。

4月からはそれぞれが身に付けた『自分らしさ』を1学年上の新しい環境で発揮してくれることを期待しています。

最後になりましたが、保護者と地域の皆様、生徒たちを支えていただいた関係者の皆様、一年間中学部の教育活動にご理解、ご協力いただきありがとうございました。



高等部

「令和6年度を振り返って～リスタートからのトライ～」

高等部 川 森 猛 司

東川養護学校高等部生徒のみなさん、卒業、進級おめでとうございます。

令和6年度を振り返ると、生徒一人一人が自分で立てた目標をもとに、充実した学校生活を送ることができました。まず、学習面では、体力づくりや作業学習をとおして心身の力を高めるため、個々の生徒のニーズに応じた支援を行いました。特に夏に行われた学習活動では、汗をかきながら頑張っている様子が見られました。生徒に対しては学習指導及び支援を強化し、生徒一人一人が自信をもてるようサポートをしてきました。生徒たちは、できることが増えるたびに笑顔を見せ、成長を実感することができたことと思います。

次に、学校行事や交流学习では、生徒たちは積極的にALT、東川高校との交流学习、東川養護学校祭での作業製品販売などに参加しました。思いやりやコミュニケーション力を養う良い機会となり、生徒たちの心温まる姿が印象的でした。また、進路についても大きな一歩を踏み出しました。高等部では、卒業後の進路に向けた準備

をしっかりと行い、現場実習や就労支援をととして、社会で自立するための力を育むことに力を入れました。生徒たちが将来に向けて自信をもつことができるよう、充実した進路指導が行われました。

この一年、様々な困難もありましたが、生徒一人一人が日々努力を重ね、成長を遂げたことを誇りに思います。令和7年度も引き続き、個々のニーズに応じた支援を行い、生徒たちが自分の可能性を最大限に引き出せるよう努めていきます。

最後に、今年度も保護者をはじめ、地域の方々、そして多くの関係者の皆様にご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。来年度も東川養護学校高等部をどうぞよろしくお願い申し上げます。



訪問教育学級

「令和6年度を振り返って」

訪問教育学級 河 合 忍

個別に学習することの多い訪問教育学級ですが、年間を通してカレンダー制作などの共通題材に取り組み、タブレット端末で作品や活動の様子を見て交流しています。

3学期の『書き初め大会』では、これまでの書き初め作品や取り組んだ様子振り返り、言葉や絵、作品に押す消しゴムはんこのデザインや彫り方を考えて製作に取り組みました。

今年度の訪問教育学級は小学部4名、中学部5名、高等部2名の延べ11名の児童生徒が在籍し、この3月で高校生2名が卒業します。社会人として新しい生活が始まりますが、これからも好きなもの、大切なものを見つけて自分らしく過ごしてほしいと思います。

保護者の皆様、関係機関の皆様には様々な場面でご協力いただきありがとうございました。次年度もどうぞよろしくお願いいたします。



学年末・学年始めの主な予定

- 3月24日（月）修了式・離任式（在校、訪問）
3月25日（火）～31日（月）学年末休業
4月 1日（火）～ 7日（月）学年始休業
4月 8日（火）着任式・第1学期始業式（在校）
 入学式（高等部）
4月 9日（水）入学式（小・中学部）
 第1学期始業式（訪問）
4月10日（木）入学式（訪問）

